

# 施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード 051340
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ 92
	関連個別計画	津市男女共同参画基本計画、津市教育振興ビジョン前期基本計画			
担当部局		市民部、教育委員会			
施策の内容(番号)		125		~	127

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
125	男女共同参画意識の高揚に向けて、フォーラムの開催や情報紙の発行などを通じて、職場・学校・地域・家庭での継続的な啓発を推進します。	A	①	男女共同参画室
126	政策・方針決定過程への一層積極的な男女共同参画の推進や女性の社会参画への支援をさらに充実することで男女が共に活躍できる社会づくりに取り組むとともに、働き方の見直しなどを含めたワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現できる環境の整備を推進します。	-	-	生涯学習課
127	男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野で個性と能力を発揮することを阻害する要因の防止や根絶に向けた相談・支援体制を充実します。	A	①	男女共同参画室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満  
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
	基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現		管理コード 051340125
	施策	40	男女共同参画の推進		本冊ページ 92
	関連個別計画		津市男女共同参画基本計画(平成30年度～令和4年度)		
担当部局		市民部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		125	男女共同参画意識の高揚に向けて、フォーラムの開催や情報紙の発行などを通じて、職場・学校・地域・家庭での継続的な啓発を推進します。		

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価		
担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性			
125-1	男女共同参画フォーラム開催事業	男女共同参画社会の実現に向けたフォーラムの開催	効	男女共同参画意識の高揚を図るため、公募市民で構成される実行委員会と協働でフォーラムを実施する	◆	年1回の開催	◎	フォーラムについては、概ね計画どおりに実施できた。今後も本事業を継続しながら、更に多くの市民の満足を得られるイベント内容を検討し、意識高揚を図っていく。
	誰		市民	◇	参加者の意見(満足度)	○		
男女共同参画室		何	フォーラムの開催により男女共同参画意識の高揚を図ることができる。	350 (千円)	現状維持			
125-2	男女共同参画推進啓発事業	男女共同参画の推進を図るための映画祭及び講演会の啓発イベントの実施	効	男女共同参画の推進を図るための映画祭等の啓発イベントを実施する	◆	年2回の開催	◎	映画祭、講演会ともに計画どおりに実施できた。今後も本事業を継続しながら、多くの市民にとって魅力あるイベントを検討し、今まで特に男女共同参画を意識していない市民の意識の高揚を図る。
	誰		子どもから高齢者までの市内外の人々	◇	参加者の意見(満足度等)	◎		
男女共同参画室		何	映画祭等の啓発イベントに参加し男女共同参画意識の高揚を図ることができる	809 (千円)	現状維持			
125-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
125-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
125-5			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

125-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
125-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
125-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
125-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
125-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	D	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり			
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現		管理コード	051340126
		施策	40	男女共同参画の推進		本冊ページ	92
	関連個別計画	津市教育振興ビジョン前期基本計画(平成30年度～令和4年度)					
担当部局		市民部、教育委員会					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		126	政策・方針決定過程への一層積極的な男女共同参画の推進や女性の社会参画への支援をさらに充実することで男女が共に活躍できる社会づくりに取り組むとともに、働き方の見直しなどを含めたワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現できる環境の整備を推進します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的			事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	何	◆ 当初の事業実施計画	◇ 事業評価の主な視点		
			効	誰	何	決算額 (千円)	今後の方向性		
126-1			効			◆			
			誰			◇			
			何				(千円)		
126-2			効			◆			
			誰			◇			
			何				(千円)		
126-3			効			◆			
			誰			◇			
			何				(千円)		
126-4			効			◆			
			誰			◇			
			何				(千円)		
126-5			効			◆			
			誰			◇			
			何				(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

126-6			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	
126-7			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	
126-8			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	
126-9			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	
126-10			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	—
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	—
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	-					
今後の方向性	①	①	①	④	-					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051340127
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ	92
		関連個別計画	津市男女共同参画基本計画(平成30年度～令和4年度)			
	担当部局	市民部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	127	男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野で個性と能力を発揮することを阻害する要因の防止や根絶に向けた相談・支援体制を充実します。			

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 今後の方向性	
127-1	相談事業	カウンセラー及び弁護士による相談業務	効	市民が身の回りの様々な悩みや問題を解決できる	◆ 毎月定期的実施	◎	定期的な開催は問題なく実施できた。今後は現状維持の中でも、特にカウンセラーは周知・案内等について、今後も検討し、利用率の増加につなげていく。
			誰	市民	◇ 相談利用率	○	
	男女共同参画室		何	利用負担なく気軽に、身の回りの様々な悩みや問題を解決できる	1,725 (千円)	現状維持	
127-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
127-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
127-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
127-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

127-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
127-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
127-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
127-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
127-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

